

29年度事業報告書

(平成29年10月1日から平成30年9月30日まで)

(特定非営利活動法人の名称)
特定非営利活動法人カラフル

1 事業実施の成果

法人設立3年目。第1四半期、利用登録者数は23人、1日当たりの平均利用者数が15人を超えるようになった。手厚い支援を行うことを心掛け、安心安全に通所ができる施設として成果が表れている。第2四半期に入った30年2月に開所3年目を迎えたが、記録のデジタル化や定期刊行物の発刊等の運営面での計画の遅れが目立つ。第4四半期末の9月末には利用登録者数が25人、1日当たりの平均利用者数も18人を超えるようになった。

安心安全に通所できる利用者様が増えてきた一方、利用者数が増えることで相対的に一人一人に対する支援量が減ったり、利用者間の人間関係が上手くいかなかったり等の理由で安定して通所できない人が一定数居る。皆が安心安全に通所できる環境づくりと体制の改善が継続的な課題である。本年度中の退所者は5名で、目標としていた“退所者0”を達成することはできなかった。

レクリエーションや施設外活動を通して、地域の一般・福祉事業所や住民の方々と交流をはかることができたこと、内職等の受注や工場見学に出向くことで就労、意識向上や見識を深める機会の提供ができたこと、養蚕を行うことで地域とのつながりが増えたことは、昨年度同様、今後も継続して行くべき成果であった。

就労支援事業（作業）に関しては、内職等の軽作業を中心に十分な就労の機会を提供できた。昨年度より養蚕を開始し、今年度は春蚕と晩秋蚕の2回の養蚕を行うことができた。Tシャツ等のプリント作業や自主製品に関しては時間的・人的にあまり余裕が無く、昨年同様に予定した成果を上げることができなかった。基礎技術習得はできているので来年度は本腰を入れて作業量を増やしていきたい。

工賃向上事業所計画では平均月額工賃2万円を目指していたが、実績としては14000円に満たなかった。養蚕、Tシャツ等のプリント作業や自主製品を本格的に行うことが直近の課題である。

常勤を中心にスキルアップにつながる研修等に積極的に参加した。個のスキル・知識のみならず、支援体制や支援の質を改善向上して行くという意識を持ってサービス提供ができた。次年度以降もノーマライゼーションの実現に向け、福祉従事者として邁進していく所存である。

最後に、社会福祉法人木下財団の助成事業で「作業室の改修工事」を完了することができた。社会福祉法人木下財団をはじめ、ご協力を賜りました関係各位に対し謹んで感謝の意を表します。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
障害福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所「カラフル」の運営	平成28年2月1日～	カラフル(渋川市)	8名	渋川市及びその近隣市町村の障がい者20名
日中一時支援事業	障がい者(児)を日常的に介護している家族や介護者が、休息や病気、就労、冠婚葬祭などの理由で介護できない時に、日中に一時的に障がい者(児)に日中活動の場を提供する。	平成29年4月1日～	カラフル(渋川市)	2名	渋川市、前橋市、高崎市、吉岡町の障害者(児)

○就労継続支援B型の内容

- (1) 個別支援計画の作成
- (2) 就労の機会及び生産活動の機会の提供
- (3) 就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練
- (4) 施設外就労・支援
- (5) その他必要な支援

○事業所の定員 20名 (利用登録者 25名(平成30年9月30日現在))

○事業所においてサービスを提供した主たる対象者

- (1) 知的障害者
- (2) 精神障害者

○事業所の営業日及び時間

- (1) サービス提供日 月曜日から金曜日(土曜日)
- (2) サービス提供時間 原則午前9時20分から午後3時20分

○事業所に勤務する職員数(平成30年9月30日現在)

- (1) 管理者 1名
- (2) サービス管理責任者 1名
- (3) 職業指導員 2名
- (4) 生活支援員 3名
- (5) 目標工賃達成指導員 1名

○月別利用状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
サービス提供日数	23	22	22	22	20	23	22	23	22	23	22	21	265
延利用者数	348	342	343	331	328	403	386	400	423	453	413	412	4582

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

平成29年12月16日

(2) 理事会

平成29年12月16日